【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-196397(P2018-196397A)
【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2018-048
【出願番号】特願2018-174817(P2018-174817)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/11　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/6806　(2018.01)
Ｃ４０Ｂ　40/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/11　Ｚ
Ｃ１２Ｑ　1/6806　ＺＮＡＺ
Ｃ４０Ｂ　40/06

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月22日(2018.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
二本鎖分子を含むＤＮＡアダプター分子であって、ここで
ａ．その第１鎖の５’末端は、一番目のヌクレオチドが遊離ヒドロキシル基を含まず、５’位において遊離ホスフェートを含まないように改変されており、
ｂ．該第１鎖の３’末端は、最後のヌクレオチドが３’位において遊離ヒドロキシル基を含まないように改変されており、
ｃ．そのリバース鎖の５’末端は、一番目のヌクレオチドが遊離ヒドロキシル基を含まず、５’位において遊離ホスフェートを含まないように改変されており、
ｄ．該リバース鎖の３’末端は、遊離ヒドロキシル基を含む、
ＤＮＡアダプター分子。
【請求項２】
バーコード配列、ならびに増幅および配列決定プライマーのための結合部位を含む、請求項１に記載のＤＮＡアダプター分子。
【請求項３】
２０～９０、好ましくは４０～７０、最も好ましくは４０～６０塩基対の長さを有する点で特徴付けられる、請求項１または２に記載のＤＮＡアダプター分子。
【請求項４】
前記両方の鎖の５’末端および前記第１鎖の３’末端にあるヒドロキシル基が、エステル化もしくはエーテル化されているという点で特徴付けられる、請求項１～３のうちの１項に記載のＤＮＡアダプター分子。
【請求項５】
前記リバース鎖の５’末端は、５‘－Ｃ３－スペーサーもしくは５‘－Ｄ－スペーサーの付着によって改変されているという点で特徴付けられる、請求項１～４のうちの１項に記載のＤＮＡアダプター分子。
【請求項６】

前記第１鎖の５’末端は、５’　Ｃ３－スペーサーもしくは５’－Ｏ－メチルデオキシヌクレオチドの付着によって改変されているという点で特徴付けられる、請求項１～５のうちの１項に記載のＤＮＡアダプター分子。

【請求項７】

前記第１鎖の３’末端は、３‘－Ｃ３－スペーサーもしくは３‘－アミノ－改変因子によって改変されるという点で特徴付けられる、請求項１～６のうちの１項に記載のＤＮＡアダプター分子。